



参院選 21日投票に向けて全党員参加を

7月6日集会で、「社民党の存亡は平和憲法とくらしの危機」と訴え



2013/07/06



を利働軍の動中をが参
 批益・9の書向心廻公院選
 判をも9の街頭では、きをとり示日
 も9のの復興を安政心説たなまで
 社たの人の負担と1%の改憲と
 民らすの負と1%の改憲と
 党すの負と1%の改憲と
 のア負担と1%の改憲と
 の主ベノと1%の改憲と
 張を訴えましつた



い右傾化の流れに抗して訴
 え切れなかつたが、このま
 ま沈むことであつてはなら
 ない。国民を犠牲にし、大
 企業優遇の安倍政策(アベ
 ノミクス)を絶対に許して
 はいけない。憲法改悪阻止
 の充実・雇用の安定等、社

社民党勝利に向けて いま、立ち上がろう

「アベノミクス」「憲法改正」を考える」と題し講演した金子哲夫氏は、「社民党比例区の3候補は沖縄の平和運動の先頭に立ち(山シロ)、非正規雇用組織化で全国ユニオン議長(鴨)、地方自治体労働運動のトップで戦ってきた人(又市)など、いまの課題をもつとも分かっている人その道の専門家であり、私たちの先頭に立つ人です。選挙の争点は2つ、原発・TPP・消費税など経済・社会保障の将来像と、憲法改正で改憲勢力がどうなるか。安倍政権は、衣の下に

7・6決起集会で訴え
 「アベノミクス」「憲法改正」を考える」と題し講演した金子哲夫氏は、「社民党比例区の3候補は沖縄の平和運動の先頭に立ち(山シロ)、非正規雇用組織化で全国ユニオン議長(鴨)、地方自治体労働運動のトップで戦ってきた人(又市)など、いまの課題をもつとも分かっている人その道の専門家であり、私たちの先頭に立つ人です。選挙の争点は2つ、原発・TPP・消費税など経済・社会保障の将来像と、憲法改正で改憲勢力がどうなるか。安倍政権は、衣の下に

民主党に課せられている課題は多くある。この参院選での敗北は、社民党の消滅を意味している。岡山選対本部は不退転の決意で戦いの先頭に立つ。全党員・支持者の力で、家族、親戚、友人、知人、地域のみに、再度、一声して一票一票の積み重ねで得票拡大に全力を出していこう。



岡山選挙区「高井たかし」候補推せん
"挨拶される高井たかし候補のご両新

当面する諸活動
**全党員参加で
 法定ピラ各戸配布**
 14日(日)・15日(月)
 各支部集合または各議員居住地周辺
 居住地の場合、事前に届けます
原水禁平和行進
 13日(土) 岡山市役所〜妹尾
 8:30 大供公園集合
 27日(土) 平和センター平和行進
 笠岡〜大門(広島へ行き)迄
 10:30からおが太陽広場集合

「よろい」を隠している。マスコミはアベノミクスを後押ししているが、赤字財政の莫大なツケが社会保障の切り下げにならないか。長期的な安定につながらない。雇用と賃金の改善しかない。大企業が内部留保を増やし続けたなかで賃金は下がりが続けた。選挙後は、雇用の規制緩和も準備され、さらに解雇の自由が強められようとしている。憲法は、国民の権利、自由を守るためにつくられたが、権力の都合のいい改憲はおかしいと気付き始めている。過去に逆のほろような流れをストップさせようと訴えた(文責事務局)

不在者投票に行きましょう。棄権では何も解決しません。低い投票率は民主主義と改憲へのイエローカードです。